

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後倶楽部リラク				公表日	2026年 1 月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもたちが見渡せる室内 死角にならないよう配置されている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		学習だけでなく必要に応じた個別対応ができるよう努めている	時にはパーティションで仕切る	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入り口は段差なく、トイレも広く手すりを設置している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもが来所前に掃除機や消毒をしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンできるようテントを設置し 暗めしている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフミーティングを実施している	全員が同じ日にミーティングを開催できない時は後日伝える、見れる環境にしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時に保護者との対話をしている	必要に応じて携帯電話でのやり取りをする	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を出し合えるよう、ミーティングを実施している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は実施していない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に一度処遇改善研修を実施している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スタッフ間で意見を出し合いながら支援プログラムを作成している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		事前にモニタリングを実施し、保護者の方に希望を書いてもらっている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティング内で子どもの様子や課題について共有する時間を設けて、次につなげる		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の療育活動につながるように、子どもの成長に合わせた学習が出来るようにする		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	ツールを用いていない		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員間で情報を出し合い、共有し、個人個人に合った項目が設定されている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		常に話し合いや携帯電話でのやり取りを行っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないように話し合っている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日のスタッフで活動内容や役割分担、子どもの情報を共有している		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日に気づいた支援の内容をスタッフ間で話す。電話で報告する		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		スタッフが記録を行い、保護者からのコメントにはスタッフが確認できるようにしている 検証・改善を話し合い共通確認ができる		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		スタッフ間で実施し、保護者や相談員にも伝えている		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者や指導員、直接関わるスタッフが参加している		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		特に交流をしたことがない		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時の会話や携帯電話でのやり取りができている	中々会えない家族様には、電話でのやり取りをしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明を行っている		
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			子どもには直接、確認し、ご家族には紙をわたして記入していただいている。その後、話し合いの場を設けている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		子どもや相談員が一緒の時もあれば、保護者様だけの時もある	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や連絡帳に記入があった場合、すぐに対応している。面接の場合と携帯電話の場合がある	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	一度も実施していない	今後、アンケートをとり、希望者が多ければ実施したい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		働いている保護者様の日程に合わせている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		A4、1枚の新聞を発行、個人的に活動の写真を携帯に送信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ホームページやインスタは顔をわからなくして投稿している。他の保護者様に、わが子以外	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		出来る限りのことはしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	していない。地域の行事に参加させていただいている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	作成はしていても、ご家族に配布はしてなかった	12月中に配布した
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定はしているが、訓練の回数は少ない	外の出ると危険な子がいる日はできないこともあり、比較的少ないので職員の数を増やして訓練をしていきたい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		薬情をいただき、ファイルに入れている病院に行く日の連絡も受けている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		特に現在では、アレルギーの子どもがいない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	作成していないので、早急に作成する	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全計画ができていない	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが出た場合は、職員間で共有し再発防止の話し合いを実施	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を設けている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		その対応が必要であれば記載する		